



第20回記念 アジア・太平洋吹奏楽大会

特別企画 シンポジウム

～「アジア・オセアニア圏の吹奏楽の現在と未来」さらなる発展を願って～

～“Band Activities in Asia and Pacific Region, Present and FUTURE” “How to make progress for our next generation”～

- Program -

1. 基調講演「APBDAの歴史的考察」

世界と比較をしたとき、アジア・オセアニア圏の吹奏楽の演奏技術や内容はどのようなものでしょうか。米国やヨーロッパと比べるとまだまだであった40年前、この地域の吹奏楽の普及と演奏技術の向上を図るために、APBDAが立ち上がりました。これまでの取り組みについて振り返ります。

講師：秋山 紀夫（APBDA 名誉会長、浜松市音楽文化名誉顧問）

2. 事例発表「APBDA各国・地域の現状」

日本では、多くの学校において部活動に吹奏楽部があり、また指導者をスキルアップするための講座も行われるなど吹奏楽が教育としてとりあげられています。海外ではどうなのでしょう。中には現在でも、学校で午前・午後の2部授業が行われクラブ活動が難しい国もあります。3つの国に焦点を当て、それぞれの地域における普及・向上に向けて、今の取り組みや課題など現状をお伝えします。

- 1. 中国 発表者：リ・ファンファン（北京吹奏楽団芸術監督）
- 2. マレーシア 発表者：エリック・リー（マレーシア吹奏楽指導者協会会長、
フィルハーモニック・ウインズ・オブ・マレーシア芸術監督）
- 3. シンガポール 発表者：エイドリアン・チャン（シンガポール吹奏楽指導者協会会長）

3. パネル・ディスカッション「吹奏楽の未来への展望」

各国や地域で、今後吹奏楽の発展のためにどのような活動や方向が必要なのかをディスカッションを通して考えていきます。

コーディネーター：イエ・シュウハン（APBDA 名誉会員、台北師範大学教授）

パネリスト：シンガポール ブランド・タン（シンガポール吹奏楽指導者協会副会長）

韓国 バエ・イルウォン（韓国吹奏楽協会会長）

日本 伊藤 康英（作曲家、浜松ゆかりの芸術家）

7|21

SAT

入場無料 * 要整理券

* 整理券はアクトシティチケットセンターにて配布中

開場 Open 9:00 開演 Start 9:30

会場:アクトシティ浜松コンgressセンター 41会議室

主催 / 浜松市、(公財)浜松市文化振興財団、(公社)日本吹奏楽指導者協会

お問い合わせ | 浜松市文化振興財団内 APBDA浜松大会事務局 TEL.053-451-1151 E-mail: apbda2017-2018@hcf.or.jp